

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-08-15

APM news 088

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

長岡造形大学「博物館実習」in APM

実習者：海津紗弥香、杉山沙織、須佐葉月、鈴木智里、堀内まりえ

実習期間：6月17日(月)～7月21日(金)、7月1日(月)～7月7日(日) 計10日間 ※6月18日、7月2日休館

実習時間：am 11:00～pm 5:00 ※変則日あり



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



今年度も長岡造形大学より依頼を受け、学芸員資格過程における博物館実習を行った。今回は過去最多の5名の実習生を受け入れた。実習内容は、作品の取り扱いや展示準備を中心に、日常業務など多岐に渡る業務を実践的に学ばせた。

現在APMでは、所蔵作品の整理作業を行っている最中である。実習生にも作品の分類、保管を体験させた。当館コレクションはポスターが大部分を占める。紙一枚というとてもデリケートな作品の取り扱いには苦労しているようであった。普段の生活には無い独特の緊張感を感じたことであろう。また、第14回企画展開催までの準備及び初日のイベント対応までを体験させた。内容は、展示作品の額入れ作業、展示作業の見学、広報活動、教育普及活動などである。初日に行われたワークショップ、美術館大学、懇親会でもスタッフの一員として動いた。サポーターズ倶楽部会員や参加者と直に接する事により、APMの存在意義や学芸員という職業に対してのやりがいや喜びを感じたようだ。更に、APMは4周年を迎えた為、記念スタンプを作成する課題を与えた。2組に分かれ、デザインを考え、自身で専用のゴム版を彫って作る。出来上がったスタンプは紙ナブキンに押し、箸袋にも当館のシンボルマークのスタンプを押し懇親会で使用した。サプライズの演出に秋山館長をはじめ、参加者の皆様に喜んでいただいた。

期間中には、当館学芸員のたかだが学芸員の仕事について講じた。最終日には、秋山館長(多摩美術大学教授)、関根慎一氏(多摩美術大学講師)、末房志野氏(東京工科大学講師)、御法川哲郎氏(長岡造形大学准教授)に講義をしていただいた。日本の美術館の現状、存在意義、世界美術館の事例、APMの活動経緯などについてお話いただいた。実習生・海津さんの「APMは人の集まる場所だと感じた」という意見を受け、秋山館長はAPMの今後の展望について語られた。実習生にとって慣れない実習内容に、当初は戸惑いや不安が見受けられたが、実習が進むにつれ、意識が変わり、責任感も生まれていったようだ。これから彼女たちは社会に出て行くわけだが、この実習で学んだことを活かし、多に活躍していただきたい。(たかだみつみ・APM学芸員)